

くにみ議会だより

令和7年
(2025年)

No.207
3月議会号

保育所の保育料が
半額に!!!



当初予算のココに注目

★保育料算出例★

家族構成



父(会社員)
母(パート勤務)
子ども2人(年長・保育所)

- ①階層区分
父母の市町村民税所得割合計
= 70,000円 第4～3階層
- ②保育必要量区分
勤務時間
父 8:30～17:15(月～金)
母 10:00～16:30(月～金)
「標準時間」認定
階層別保育料22,000円
- ③家庭状況に応じた減額措置
22,000円÷2 = 11,000円
- ④保育料負担軽減事業
11,000円÷2 = 5,500円

階層区分・保育必要量区分・
家庭状況に応じた減額措置に
より決定していた児童ごとの
保育料が、令和7年4月1日
以降、半額となります。本事
業は、「令和7年度子育て応
援保育料負担軽減事業」とし
て、ふるさと振興基金を活用
して実施されます。町長公約
の0歳から2歳児まで無償化
まであと一歩です！

- 「保育料算定の流れ」
①「階層区分」の決定
両親などの市町村民税の所
得割の額にて判定。
②「保育必要量区分」の決定
就労時間やその他の保育認
定要件に応じて「標準時間」
「短時間」に分けられます。
③家庭状況に応じた減額措置
①②によって決定した階層
区分毎の保育料から、半額な
どの措置があります。

NEW

保育料が半額に!!

予算額：645万円

ポイント1



子育て支援の充実！

MORE INFO

すくすくもも
さぼ祝金(継続)
出産・子育て応援給付
金とは別に、出生した
子1人あたり5万円を
祝金として贈呈してい
ます。

予算額：150万円

MORE INFO

入園入学祝金
(継続)
幼稚園入園時 1万円
小学校入学時 3万円
中学校入学時 5万円

予算額：3750万円

MORE INFO

給食費無償化
(継続)
幼稚園・小中学校の給
食費を無償化していま
す。

予算額：3641万円



現在の藤田駅

ポイント2



藤田駅前の 安全対策

都市再生整備計画推進
事業として、駅利用者の
安全確保・利便性の向上
のために、藤田駅前の整
備が始まります。具体的
にどのような形になるか
については、これからの
関係機関との調整により
決定いたします。動きが
あれば、町民のみなさん
へお知らせします。

予算額：5000万円

令和7年度

もくじ

P2-3 特集

- ①令和7年度の子育て支援に注目！
- ②藤田駅前の安全対策に注目！

P4-5 議決結果・ 施政方針まとめ

P6 施政方針質疑答弁

～7年ぶりに復活！3人登壇～
当初予算質疑答弁

P7 当初予算質疑答弁

P8-9 一般議案質疑答弁

P9 補正予算質疑答弁

P10-17 一般質問

～議員8人登壇～

P18 議会活動報告

P19 議会モニター紹介

～令和7年は9名で活動！～

P20 私たちの町内会

～駅前町内会長に聞きました！～



※写真はイメージです

“地域優良賃貸住宅建設事業（基本設計）”を実施します。子育て世帯向けの地域優良賃貸住宅を建設するための基本設計を実施し、住宅環境の整備を図ります。令和7年度は基本設計のみで、その後のスケジューリングは基本設計が終了してからです。

NEW

子育て世帯向け 住宅の基本設計

予算額：2200万円

くにみ議会だより

発行／福島県国見町議会

〒969-1792

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁二番7

TEL.024 (585) 3295 FAX.024 (585) 2181

<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>

編集／議会広報常任委員会

発行日／令和7年(2025年)4月25日



母子モのインストールは
こちら↑↑↑



町HPはこちら↑↑↑



令和7年3月17日(月)から、町でも配信がスタートしました！詳しくは、左記二次元コードから町HPをご確認、もしくは広報くにみ3月号をご覧ください。

NEW

母子手帳アプリ 「母子モ」配信 スタート！



議会モニター
齋藤 一巳さん

ポイント2について

More

具体的な内容が不明ですが、いずれにせよこのような大きい事業を実施前に町民に対して説明会を開催し、納得してもらってから実行していただきたい。昨年までの町政への不信感政策に対する透明性が欠如していたことも大きな要因であるため、ぜひ町民説明会を実施していただきたい。



議会モニター
松田 昭子さん

ポイント2について

Good

駅は、その町の入り口であるとともに「顔」にもなると思います。利便性の向上を図ることによって、町の象徴地域にもなるような企画を期待します。

議 決 の 結 果

議案番号	件 名	備 考	結 果
報 告 第 1 号	専決処分の報告について	損害賠償の額の決定及び和解について報告するもの。	報 告
報 告 第 2 号	その他債権放棄について	水道使用料15,500円を放棄したため報告するもの。	報 告
議 案 第 4 号	国見町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例	国の推進するデジタル化及びアナログ規制撤廃に伴い、条項の整理及び必要な文言の整理を一括で改正するもの。	原案可決
議 案 第 5 号	国見町行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会条例等の一部を改正する条例	刑法の一部改正に伴い、引用及び文言を一括で改正するもの。	原案可決
議 案 第 6 号	国見町情報公開条例の一部を改正する条例	国の法改正に伴い、個人情報保護法に規定する行政機関等匿名加工情報等及び個人識別符号の追加、職員の氏名を不開示情報とするもの。	原案可決
議 案 第 7 号	国見町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	県条例に準拠し、特定任期付勤勉手当の新設及び文言の整理を行うもの。	原案可決
議 案 第 8 号	国見町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、文言の追加及び改正を行うもの。	原案可決
議 案 第 9 号	国見町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	育児・介護休業法の改正に伴い、引用する条項を改正するもの。	原案可決
議 案 第10号	国見町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事委員会勧告に基づき給料表、各種手当等の改正、配偶者の扶養手当の廃止及び等級別職務表等の文言を整理するもの。	原案可決
議 案 第11号	国見町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	県条例に準拠し、抜本的な改正及び文言の整理を行うもの。税務担当課職員の月額手当を廃止するもの。	原案可決
議 案 第12号	国見町税条例の一部を改正する条例	マイナンバー法及び道路交通法の改正に伴い、引用及び文言を改正するもの。	原案可決
議 案 第13号	国見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	国の基準改正に伴い、抜本的な改正を行うもの。	原案可決
議 案 第14号	国見町ひとり親等家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	児童扶養手当法等の改正に伴い、引用及び文言を改正するもの。	原案可決
議 案 第15号	国見町営住宅条例の一部を改正する条例	町営住宅の管理戸数の変更によるもの。	原案可決
議 案 第16号	国見町水道事業の業務に従事する職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	人事委員会勧告に基づき配偶者の扶養手当の廃止及び文言を整理するもの。	原案可決
議 案 第17号	国見町水道条例の一部を改正する条例	水道法施行令及び水道法施行の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件等を改正するもの。	原案可決
議 案 第18号	国見町語学指導等を行う外国青年の給与に関する条例を廃止する条例	会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則及び国見町英語指導助手設置規則の制定により、条例を廃止するもの。	原案可決
議 案 第19号	工事請負契約の一部変更について	- 徳江大橋補修工事 - 変更前：1億9932万円 - 変更後：2億617万円 - 変更理由：床板クラック補修箇所施工増による工事費増額のため	原案可決
議 案 第20号	和解について	第三者行為により介護給付費の損害賠償請求の未払いについて支払いを求める訴えを提起した件について、相手方と1,920,485円の損害賠償額より和解するもの。	原案可決
議 案 第21号	令和6年度国見町一般会計補正予算(第6号)	歳入歳出補正前 70億8846万円 歳入歳出補正後 70億3700万円	原案可決
議 案 第22号	令和6年度国見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出補正前 1億7412万円 歳入歳出補正後 1億8310万円	原案可決
議 案 第23号	令和6年度国見町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出補正前 10億4777万円 歳入歳出補正後 10億1758万円	原案可決
議 案 第24号	令和6年度国見町介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出補正前 15億7858万円 歳入歳出補正後 16億4118万円	原案可決

議案番号	件 名	備 考	結 果
議 案 第25号	令和6年度国見町渇水対策施設特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出補正前 1087万円 歳入歳出補正後 1241万円	原案可決
議 案 第26号	令和6年度国見町水道事業会計補正予算(第3号)	- 収益的収支 収入補正前 2億4300万円 収入補正後 2億3910万円 支出補正前 2億4593万円 支出補正後 2億4942万円 - 資本的収支 収入補正前 7489万円 収入補正後 7032万円 ※支出補正なし	原案可決
議 案 第27号	令和6年度国見町下水道事業会計補正予算(第1号)	- 収益的収支 収入補正前 2億1220万円 収入補正後 2億1191万円 支出補正前 2億1033万円 支出補正後 2億846万円 - 資本的収支 収入補正前 6890万円 収入補正後 6740万円 ※支出補正なし	原案可決
議 案 第28号	令和7年度国見町一般会計予算	歳入歳出合計 63億8000万円	原案可決
議 案 第29号	令和7年度国見町大木戸財産区特別会計予算	歳入歳出合計 15万円	原案可決
議 案 第30号	令和7年度国見町入山財産区特別会計予算	歳入歳出合計 19万円	原案可決
議 案 第31号	令和7年度国見町石母田財産区特別会計予算	歳入歳出合計 115万円	原案可決
議 案 第32号	令和7年度国見町後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出合計 1億8676万円	原案可決
議 案 第33号	令和7年度国見町国民健康保険特別会計予算	歳入歳出合計 9億9483万円	原案可決
議 案 第34号	令和7年度国見町介護保険特別会計予算	歳入歳出合計 14億7484万円	原案可決
議 案 第35号	令和7年度国見町土地開発事業特別会計予算	歳入歳出合計 0.4万円	原案可決
議 案 第36号	令和7年度国見町渇水対策施設特別会計予算	歳入歳出合計 1153万円	原案可決
議 案 第37号	令和7年度国見町水道事業会計予算	- 収益的収支 収入 2億4876万円 支出 2億5325万円 - 資本的収支 収入 3073万円 支出 9025万円	原案可決
議 案 第38号	令和7年度国見町下水道事業会計予算	- 収益的収支 収入 2億1137万円 支出 2億794万円 - 資本的収支 収入 5820万円 支出 1億4428万円	原案可決
同 意 第1号	副町長の選任につき同意を求めることについて	【新任】鈴木伴承(すずきともつぐ) 空席のため新たに副町長を選任するもの。	同 意
同 意 第2号	教育長の任命につき同意を求めることについて	【新任】石幡良子(いしはたりようこ) 空席のため新たに教育長を任命するもの。	同 意
発 議 第2号	国見町議会の会期等に関する条例	通年議会の導入に当たり新たに制定するもの。	原案可決
発 議 第3号	国見町議会委員会条例の一部を改正する条例	広報常任委員会を除く委員の任期を4年から2年に改正するもの。	原案可決
発 議 第4号	国見町議会個人情報保護条例の一部を改正する条例	刑法改正に伴う所要の改正及びその他の文言の整理を行うもの。	原案可決
発 議 第5号	国見町議会会議規則の一部を改正する規則	通年議会制の導入に係る所要の改正及び文言の整理を行うもの。	原案可決



施政方針

地域の誇りと未来を共に みんなが主役の地域づくり

1 住民主役の信頼される自治体づくり

住民ニーズの政策反映と公かつ透明な行政運営を目指す。

2 安全安心でいつまでも住み続けられるまちづくり

防災・減災対策の強化と医療・福祉・介護従事者の確保、生活交通拡充、地球環境に配慮した取り組みを推進する。

3 お互いに支え合い助け合える思いやりのある地域づくり

健康長寿や子育て環境の維持・拡充を進める。

4 誰もがイキイキと活躍できる地域づくり

稼げる農業、地域経済の発展促進、地域経済の活性化と雇用の確保を図る。

5 住んでよかった選んでよかったと実感できる地域づくり

地域コミュニティの活性化、歴史・伝統・文化の継承、地域ブランドイメージを図りながら人口減少に歯止めをかける。

施政方針に対する質問

◆山崎健吉議員

質問 5つの地域づくりについて

答弁

- 1 町民と直接意見を聞く場をつくる。町民意見箱を設置した。
- 2 信頼回復のためコンプライアンス推進指針を策定し、十分な説明を行う。
- 3 生活交通の拡充は、利便性を高めるため検討する。
- 4 防災・減災対策の強化を行い町民の生命・財産を守る。
- 5 健康増進計画により高齢者の健康づくりを展開する。
- 6 学習環境については、ICT支援員を配置し教育の充実を図る。
- 7 稼げる農業を実現するため特産品のブランド化を図る。
- 8 企業誘致により雇

用と、地域活性化を図る。

9 町民が集える「まちの駅」を空き家を活用し整備する。

10 国見町の良好な環境を生かし人口減少に歯止めをかける。

◆蒲倉 孝議員

質問 認定こども園について、予算も言葉も無いがどのように検討するのか。

答弁 第6次総合計画中間見直しと連動させ、丁寧な議論と合意形成を図り、より具体的な整備方針の検討を進める。

◆佐藤 孝議員

質問 農業ビジネス訓練所運営の抜本的見直しを行う考えはあるか。

答弁 農業振興をより

推進するため、管理運営の望ましい姿を検討していく。

質問 0歳～2歳児の保育料無償化までのロードマップを示せ。

答弁 7年度の保育料を半額とするが、公約どおり任期中の無償化を目指す。

質問 市街化調整区域の開発手法として、地域未来投資促進法を活用してはどうか。

答弁 企業誘致は地域経済と雇用の観点で重要な施策だ。企業立地制度の一つであり、情報収集を図りながら検討を進める。

※上記以外にも質疑答弁しております。詳細の質疑答弁は議会事務局YouTubeチャンネル内にある、一般議案質疑・答弁のコメントより施政方針に対する質問をご確認いただけます。



当初予算質疑答弁

問

(松浦常雄議員)
 林業振興費福

島森林再生事業311
 6万4千円は、どこに
 どのような種類の樹木
 を植栽するのか。

佐藤産業
 振興課長

この事業
 は令和7年
 度で終了する。植栽で
 はなく、石母田地区の
 山林の間伐を行うもの
 である。



森林再生事業

問

(犬戸武志議員)
 藤田保育所運

営事業について、予算
 対前年比1558・5
 万円の大幅増となる根
 拠は。

大勝教育
 総務課長

会計年度
 任用職員
 給与の改訂と共済組合
 負担金の増加を見込ん
 だもの。

問

(犬戸武志議員)
 令和3年3月

の議会で保育所の先生
 のなり手不足等のため
 に正職員を増やすとの
 答弁があった。正職員
 を増やすことと予算増
 との関連は。

大勝教育
 総務課長

保育所・
 幼稚園現場
 での正職員数の増減は
 ない。会計年度職員任
 用職員で対応している。

問

(山崎健吉議員)
 まちなかタク

シーの待ち時間が長く
 不便だと言う声がある。
 また利用状況について



まちなかタクシー

問

(八巻喜治郎議
 員)

保育料の半額予算に
 ついて、全国的には無
 償化に向かっており、
 川俣町では無償化を実
 施している。若い世代
 の移住定住につながる
 ための支援として無償
 化の方向への見通し計
 画はあるか。

問

村上
 町長

国見町の財政
 状況は厳しい状
 況であるが、今後、社
 会状況や町の財政状況
 を踏まえ検討していく。

問

(蒲倉 孝議員)
 中度難聴者補

聴器購入補助金につ
 いて、補聴器は片耳25万
 円以上の高額品であり、
 補助額3万円は少な
 ざるところが、補助金
 増額の考えはあるか。

問

黒田福祉
 課長

初めて予
 算計上し、
 基準は医師の意見書等
 が必要になるため、藤
 田病院・伊達市内耳鼻
 科に照会をかけている。

は。

神住民
 防災課長

待ち時間
 を短縮する
 には、運転手の確保と
 台数の確保に応じた契
 約が必要である。利用
 状況には、昨年4月か
 ら今年2月までのべ3
 731人利用した。

問

(山崎健吉議員)
 商店街の街路

灯灯具の交換と一緒に、
 照明もLEDとし、明
 るくするのか。

佐藤産業
 振興課長

商店街1
 06基の街
 路灯については、商工
 会管理となっている。
 LEDの照度について
 は、明るくしてほしい
 との要望があり、今後
 商工会と協議する。

補聴器



今後、状況に応じて検討する。

問 (蒲倉 孝議員)
予算計上500万円の都市再生整備計画推進事業「藤田駅前ロータリー等整備工事」は、令和7年度どのような計画か。

村上建設課長 土地開発公社で先行取得した、土地の買戻し予算および工事請負費として、一部整地工事を行いたいと考えている。

防火水槽



問 (蒲倉 孝議員)
「住宅維持管理事業」6225万円のうち、防火水槽設置1基1100万円はどこに設置する計画か。

神住民防犯課長 例年、秋頃の消防団幹部会議にて協議し、その年の設置場所を決定する流れとなっている。

問 (佐藤 孝議員)
65歳以上の新型コロナワクチン接種率が20%と低い要因分析は。

佐藤 副反応
ほけん課長 や感染が落ち着いてきたことが要因だ。

問 (佐藤 孝議員)
65歳未満の個人負担費用は1万5300円のため接種率は相当低いはずだ。医療介護従事者等への負担軽減策を町村会等で協議できないか。

佐藤 近隣自治体と協
ほけん課長

議検討を進めたい。

問 (佐藤 孝議員)
農産物PR時に生産者が参加できない対応策として、生産者の等身大パネル作成を提案したが、検討結果は。

佐藤産業振興課長 既に作成しPR時に活用している。好評なので第2弾の作成を予定している。



農産物PR等身大パネル

条例改正

【議案第10号】
職員の給与に関する条例

問 (山崎健吉議員)
通勤手当の上限が6万4000円から15万円になることで、今後の職員採用が広範囲になってしまうのでは。

問 (穴戸武志議員)
7級職の総務課長が抜けた理由は。また、総務課長は今までより一段上の形で全体を見るといふことか。

澁谷総務課長 改正は、県人事委員

澁谷総務課長 各課長と同様に部署

会勧告によるもの。採用については、民間も含め人員不足の状況。条件は広げておくべきと考えている。

【議案第11号】
職員の特殊勤務手当に関する条例

問 (蒲倉 孝議員)
用地交渉というのは担当になったら普通の業務だと思うが、手当をつける理由は。

澁谷総務課長 県条例で定められていることに加え、用地交渉は非常に精神的に辛い業務であるため、妥当と考えている。



道の駅第2駐車場建設予定地
(道の駅国見あつかしの郷北側)

補正予算

【議案第21号】

令和6年度国見町一般会計
補正予算(第6号)

歳出

問

(穴戸武志議員)
道の駅の第2
駐車場整備事業について、だれでも停めやすい駐車場の整備をお願いしたい。

佐藤産業 白線引に
振興課長 ついては検討中であるが、現在、

駐車場スペースを広くとる予定である。その他についても検討をしている。駐車しやすい駐車場を目指す。

問

(蒲倉 孝議員)
ふるさと納税業務委託について、なぜ委託料が増えているのか。

課長

ふるさと納税の額によつて委託額が変わる。納税額が見込みより多かったため、委託額も上がるということ。

問

(佐藤 孝議員)
コロナワクチンの予防接種について、当初予算から半分減額補正する根拠は。

佐藤 孝議員

最新の接種者が705名であることから補正を組んだ。

歳入

問

(小林聖治議員)
国民健康保険税が減額となった理由は。

問

(佐藤 孝議員)
接種率が20・3%というのは低いと思うが、近隣町村の接種率は。

佐藤 孝議員

桑折町 22・4%、川俣町 16・0%となっている。

問

(小林聖治議員)
国民健康保険税の収納率99・5%(令和5年度実績)と高い理由は。

佐藤 孝議員

町民の納税意識の高さと、税務課と連携した収納対策によるものと分析している。



予防接種の様子

その他

【議案第20号】

和解について

問

(佐藤 孝議員)
介護保険費用裁判の和解内容は請求額が減額されている。主要要因は何か。

黒田福祉課長

被害者にあったとして35%減額の和解勧告提示となった。

問

(佐藤 孝議員)
町の主張が基本的に認められたとの理解か。

黒田福祉課長

相手側が示談日までの金額を支払うと明記され、一定の主張は通っている。



まつうらつね お
 松浦常雄 議員

子どもたちの安全を 第一に事業の見直しを

町民の安全を守る対策は

問 近年、オレオレ詐欺などの特殊詐欺や強盗、殺傷事件が多い。町民の安全を守る対策は。

神住民 防災課長 防犯灯の設置、夜間の防犯パトロール、警察による警邏要請などの対策を行っている。

問 児童生徒の登下校の安全対策は。

中條教育 施設課長 通学班の集合場所やスクールバスの停留所での、保護者や家族による見守り、および学校近くの2力所の交差点で交通教育専門員による街頭指導



交通教育専門員による街頭指導

よる指導を行っている。

保育所、幼稚園小中学校の安全対策は

問 児童生徒への声掛け事業や、校内への侵入など不審者の関わりがなくならない。教室と職員室との緊急通報システムは、

中條教育 施設課長 緊急通報システムは、緊急通報がないが、プッシュ式の内線を設置している。

整備されているのか。

問 受話器を取る、と即通話できる最新の器具にすべきでないか。

中條教育 施設課長 今後検討していく。

問 学校の安全対策マニュアルを

県北中への「町民ふれあいルーム」設置の再検討を

問 「町民ふれあいルーム」設置の目的は何か。

大勝教育 総務課長 学校、家庭、地域の交流の場として学校を活用し、地域の教育力を学校へ呼び込むことを目的としている。

作成し、訓練しているのか。

中條教育 施設課長 作成している。訓練は、一部していないところがあり、今後実施していく。

問 不特定の人々が許可もなく自由に学校へ出入りし、指定された部屋とはいえ、管理者もなく自由に使用することは、人的物的管理上および生

大勝教育 総務課長 学校の使用の要綱の原案はできている。使用は、申請によることとする。

問 近隣の学校では、校舎の一部を市民に使用させているが、そこは、学校の管轄ではなく、生涯学習課の管轄であり、出入り口も児童生徒とは別であり、部屋の管理は、コーディネーター

大勝教育 総務課長 この計画は、コミュニケーションスクール委員会で熟議し、決定したものである。次年度に、コミュニケーションスクールのメンバーも入れ替わり、新しいメンバーになるので、再検討する。



県北中学校外観



ししどたけし 議員
矢野 武志

コンプライアンス遵守による健全な町政運営を

一層のコンプライアンスの推進を

問

「国見町の内部統制に関する方針・国見町コンプラ推進指針及び重点取り組み事項」作成の狙いとポイントは。

澁谷総務課長

コンプライアンス推進指針は6つの行動規範、14項目の重点取り

問

「平常時の危機管理」は危機

に関する「知識と意識」の浸透を図ることである。このためには定期的な研修が欠かせないが、現在の研修計画は、

澁谷総務課長

今年度より町独自で「職員コンプライアンス研修」を会計年度職員も含め全職員に実施した。次年度も定期的開催する。

問

取り組み方針に基づき、体制

の整備および制度の運用を全庁的に推進する役割を担う部署を定めるとある。どのような組織体制になるのか。

澁谷総務課長

総務課となるが、監査委員とも意見交換を行い効果的な実施に向けて取り組む。

問

危機管理・コンプライアンス

は「自分と自分の今の生活を守るためである」と言われているがどのように捉えているか。

澁谷総務課長

危機管理やコンプラ

イアンスの推進は、全職員が自分事として意識するとともに、常頭の片隅に置くことに

国見町歴史的風致維持向上計画（第2期）が認定

問

現在の全国の歴史的風致維持

大勝企画調整課長

令和6年7月17日現在、97都市が認定を受けている。

問

国見町歴史的風致維持向上計画を使用して、中学生

に当町の歴史・文化の講義を継続的に実施してはどうか。また、町職員の研修にも使用し

てはどうか。

大勝企画調整課長

中学生に、職場訪問や総合学習などで計画されている。また、職員についてはスキルアップも含め様々な場面で活用していく。

※一般質問時には認定待ちであった国見町歴史的風致維持向上計画（第2期）素案は、3月21日に認定が決定しました。

認定されるメ리트は歴史文化事業に対して国から補助が10年間受けられることだと思うが、どのような事業を検討しているのか。

大勝企画調整課長

特に、阿津賀志山頂上付近と阿津賀志山防塁の環境整備および歴史的建造物の保存や利活用を考えている。



歴史的風致維持向上計画表紙



国、県、町民の信頼を取り戻すには

国から、地域再生計画の取消処分

問 新年度に向けてどのような組織改編を行うのか。

村上町長 令和7年度が村上町政の本当のスタート。現在の組織の問題点を一つ一つ洗い出し、組織を見直していきたい。

問 教育委員会について、将来的な認定こども園や義務教育学校を踏まえた組織改編を考えているのか。

村上町長 組織等検討委員会を来年度早々に開催する。その中でしっかりと進めていきたい。

問 前町長時代に受けた町内会要望について、新たな予算措置や実現が難しいものなど様々があると思うが、それら要望についてどう対応していくのか。

村上町長 要望の一つを精査し、重要性、緊急性を総合的に勘案して、前向きに検討する。

問 新年度予算編成において、昨年度と異なる点はどこか。

課 澁谷総務長 総務費が大幅に増加している。理由として

は、町長の公約でもある保育料の軽減措置、後期高齢者の人間ドックの実施などに予算配分するなど、時代の変革に合わせた予算編成をしている。

問 先の町長選挙中、町民の意見を聞くこと繰り返し訴えてきた町長だが、町民との意見交換は実施したか。

村上町長 意見交換会は開催していないが、新たに町民意見箱を設置した。従来の電子メールやホームページを利用するシステムに加え、紙でも意見を出せるようにして、町政執行に生かしていきたい。

問 自民党の税制大綱、政府の税制改革大綱では、地域再生計画において不適切な運用を行った自治体に対し、2年間の計画策定を認めないペナルティが課せられる。このペナルティに対する責任の所在を、どう

村上町長 明確にするのか。国、県、町民からの信頼の回復に努め、二度とこのような事態を起こさないために、政策、そして執行体制を整えていかねばならないと認識している。

幸徳水路、7年度予算に調査設計費を計上

問 大枝地区の幸徳水路は、水路の劣化が激しく、水漏れなどが起きている。住民の高齢化などにより泥上げ作業などができなくなる可能性が高い。町として現状把握と今後の整備見通しを伺う。

村上建設課長 地域の重要な水路として、水漏れ

地域の重要な水路として、水漏れ



泥上げに危険が伴う幸徳水路



こばやしせいじ 小林聖治 議員



答弁する村上町長



やまざきけんきち
山崎健吉 議員

町民の知る権利は 人口減少対策は

町内会未加入世帯へ町からの情報は

問 現在、当町の世帯数は338

3世帯で町内会未加入世帯は519世帯だが、町からのお知らせはどのように行っているのか。

澁谷総務課長 町内会未加入世帯に

対する配布物は直接届

問 11月に町長および議会議員の補欠選挙があった。その時の選挙広報紙の新聞折込は何部か。

おおよび議会議員の補欠選挙があった。その時の選挙広報紙の新聞折込は何部か。



町からのお知らせ(回覧板)

澁谷総務課長 選挙公報紙は、福島民報と福島民友で2550部配達した。手法として郵便局のエリアで全世帯に配布する方法もあるとのことですが、後検討する。

問 11月の町長および議会議員補欠選挙で防災行政無線で、公示日の5日には

で、公示日の5日には

議員補欠選挙は無投票との放送があったが、10日の町長投票日には当落の放送が無かった。行政無線としては不親切と思うが。

澁谷総務課長 選挙管理委員会では防

人口減少をどのように食い止めるのか

問 当町の20歳から39歳までの人口は1100人だが、未婚者は813人で割合にすると74%が未婚者である。未婚者も人口減少の一因と思うが。

大勝企画調整課長 20歳から39歳代の年齢が町外に転出する傾向にある。食い止めるため魅力ある町、住み続けたい、働きたい場をつくっていききたい。

問 結婚した方への支援はどのように行っているのか。



公園で遊ぶ子ども

災行政無線の許可できる範囲には入っていない。選挙が投票になるか無投票になるかの事務については選挙管理委員長の許可を得て知らせた。

黒田福祉課長 結婚新生活支援補助金を支給している。29歳以下は県から60万円、町から15万円を年齢が44歳以下は県から30万円、町から15万円助成している。

問 人口減少対策を強力に進めるには、結婚・出産・働く場所・住む場所が必要だということは同感で、町長も最重要課題だと公約している。活性化策についてどう考えているか。

人口減少幅をいかに抑制することの対策として、町内にある遊休の土地や建物の有効活用をするため調査し、企業誘致により雇用を創出することが重要と認識している。

村上町長 人口減少幅をいかに抑制することの対策として、町内にある遊休の土地や建物の有効活用をするため調査し、企業誘致により雇用を創出することが重要と認識している。



さいとう しげる
 齋藤 樹 議員

漏水・陥没事故を防ぐには

定期的な点検・調査の実施を

問 陥没事故は東日本大震災を除いて発生しなかったのか。

答 阿武隈川上流流域下

水道県北処理区からは、陥没事故は発生していないと報告があった。

問 町の使用開始年度は。

答 平成8年4月から供用を開始し、今年4月で29年を迎える。

問 下水道のポンプアップ箇所は何箇所か。

答 山崎滝山、地内と小坂農村総合管理センター手前の2カ所に設置している。

問 下水道維持管理はどのように行っているのか。

答 腐食の恐れが大きい箇所は年数を決めて確実に点検・調査している。

問 災害の保険に入っているのか。

答 毎年下水道の賠償責任保険に加入している。



森江野町民センター前交差点

問 森江野町民センター前の交差点付近約15mの深さに流域下水道幹線が通っている。流域下水道事務所から緊急点検の連絡はあったのか。

答 令和7年1月30日に

漏水率0%を目指す取り組みを

問 上水道の使用開始は何年か。

答 昭和34年12月1日から給水を開始し、今年で66年となる。

問 水道を給水している世帯数は。

答 令和7年1月現在で、工場や公共施設等を含め3455件。

問 空き家の件数は。

答 管理の都合上給水を

県から通知があったが、県北流域下水道建設事務所によると、県北処理区に該当する箇所がないため緊急点検は実施していないとの回答があった。

開栓しているのは73世帯。

問 上水道の漏水状況は。

答 直近の有収率は83%で、漏水は17%。

問 水道事業にかかる取り換えや年間の経費はいくらか。

答 水道工事、改良工事は国の補助金を活用しており、非常時の給水拠点確保のため、耐震性のある管に敷設替えを



水道工事現場

意見

漏水率を2〜3%にとどめれば工事費等が相当浮く。町長をはじめ、みんなで漏水率0%を目指し、努力してほしい。



かばくら 浦倉 議員

学校評価により期待される取り組みは

「学校評価」結果の町民への説明は

問

評価には、① 自己評価②学校関係者評価③第三者評価の3つの形態があるが、町民へはどのように公表説明を行っているのか。

大勝教育総務課長 自己評価は、保護者アンケート評価を通じ、

小中学校のホームページに掲載している。学校関係者評価は、学校運営協議会において自己評価結果を基に評価を行っている。公表は努力義務とされているが、国見学園コミュニティ・スクールにより掲載する形で公表している。第三者評価は、何らかの評価すべき必要性が生じた場合行い、法令での義務付けがないため、町では実施していない。

問

令和7年度は、児童生徒がより



良い教育活動等を享受できるよう、どのように学校運営の改善と発展を目指す取り組みを行うのか。

大勝教育総務課長

学校では、令和6年度の評価に基づき、教育計画の編成を進め3月末日までに教育委員会へ報告し、定期的な評価検証および都度修正を行う。教育委員会と

問 分析した結果や方針が分からないと、提案やお手伝

「全国学力・学習状況調査」の比較分析の実施状況は

しても、各学校の評価結果を基に必要な支援

や教育条件整備に努める。

問

福島市や郡山市などは、福島県と比較分析し結果を公表しているが、当町の小中学校は行っているのか。

いができない。説明できる範囲で公表はできないか。

大勝教育総務課長

平均正答率・正答数

状況、設問ごとの得点分析などを行い、質問紙結果からは教科との関連を見るクロス分析を行っている。分析結果は、基礎的な知識・技能の理解定着に課題があるため、個別の支援が必要と考えており、校長会議にて共有し学力向上対策の一助としている。



テスト風景(※写真はイメージです)

大勝教育総務課長

福島市は小学校43校、中学校19校、郡山市は小学校49校、中学校25校と多くの小中学校があるが、当町は小中学校が1校ずつであるため、個人の特定に繋がる恐れもあり公表できない。



やまき きじろう
 八巻喜治郎 議員

人口減少対策に向けた 取り組み強化を

子育て環境の改善を求める

問 子育て世代への支援の強化について伺う。

黒田福祉課長 妊娠時に

付金5万円とお祝いの品々、出産後は独自にももさば祝い金5万円とお祝いの品々、子育て応援給付金5万円を

支給している。産後の休養のため産後ケア事業も実施している。

問 職場復帰を後押しするための託児所、保育所、幼稚園等の運営強化は考えているか。また、保育料の減額等の計画はあるのか。

黒田福祉課長 0歳児から3歳児からは幼稚園に入所、入園できるようになっており、預かり保育も月曜日から土曜日まで開設している。また、小学生を対象に



公園で遊ぶ子どもたち

若年層の流出防止に向けて

問 若者の流出をどのように捉えているのか。

大勝企画調整課長 転出の主な理由は、進学や就職によるものだ

と分析している。働きたい、住みたくなる

職場体験の充実化を

問 現在の職場体験期間は2日間で、希望する職場に行けるとは限らないとのこと。充実化すべきでは。

大勝教育総務課長 職場体験を含め、キャリア教育は大変重要な教育と考えている。現在の職場体験の対象は、中学2年生。生徒が希望する職場で体験ができるよう、関係事業所等の協力を得ながら調整していきたい。

問 雇用された社員の支援等は。

問 職場体験とは別に職場見学会

問 雇用する地元企業への支援は。

佐藤産業振興課長 雇用促進奨励金等がある。今後、商工会と連携の上、支援策の概要を周知していきたい。

地元産業の活性化

を実施してはどうか。

大勝教育総務課長 子どもの将来の選択肢を広げるために、今年度の事業を検証し、次年度に職場見学会を含めて具体的な事業を検討する。



福梁製作所

佐藤産業振興課長 資格取得やスキルアップに要する費用の半額を支援する人材育成に特化した新規事業を開始した。地域活性化に地元の商工業者の維持発展は不可欠であるため、引き続き人材の確保・育成に向けた支援策に取り組んでいく。



さとう 孝 議員
佐藤 孝

ひとり親等家庭医療費助成の拡充を

問 ひとり親世帯が負担する月の医療費1000円の廃止検討の経緯と結果は。

黒田福祉課長 2力年間特別給付金が支給されており、廃止は考えていない。なお、全庁的な検討はしていない。

問 所得制限で3世帯は助成が受

けられない、この制限も撤廃すべきだが。

黒田福祉課長 児童扶養手当と同基

コロナワクチン助成は近隣自治体と連携する

問 2つの制限撤廃は30万円弱で可能だ。子育て支援拡充の政治決断を要請する。次に、周辺での医療従事者等へのコロナワクチン助成状況は。

佐藤 近隣でほけん課長 の助成はない。5類でもあり、各事業所での対応が望ましい。

問 65歳未満は接種費用の1万5300円全額負担だ。感染拡大防止の観点で検討すべきではないか。年齢刻みでの弾力的実施も考えられるが。

佐藤 感染がほけん課長 再流行することもあり、対象や助成額など弾力的運用なども考えながら近隣自治体と連携したい。

公平公正な行政財産処分を

問 過去4年間の町所有の行政財産処分実績と処分方法は。

澁谷総務課長 5件で326㎡、145万円。すべて非公募・随意契約である。

問 原則は公募・入札だ。随意契約は公有地の隣接者が

企業版ふるさと納税のこれから

問 企業版ふるさと納税を受ける前提の「町地域再生計画」が国の認定取り消しとなった。その認識は。

村上町長 制度開始後初めてで極めて重大であり、町民に対して大変申し訳なく思っている。

問 4月から3年間この制度が延長されるが、町は2年間のペナルティが課せられ、新制度での認定が延ばされる懸念があるが見解は。

村上町長 指摘の通りと

最も有効利用される場合となっている。契約までの経過は公文書に明記されているのか。次回以降の議会で、具体の売買実例を示し質疑する。

澁谷総務課長 要件に該当するため内容が明記されている。

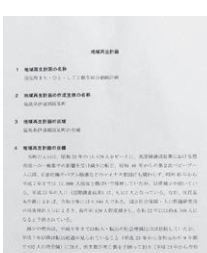
に努めていきたい。

問 年間の実質的ペナルティが課せられると、事業期間は相当短くなる。それでも申請するか。

村上町長 いかにも短くならうとも、寄附が受けられる状況へ戻していきたい。

問 実施期間が短期間になることを考慮し、申請事業を子育て・教育・介護等の政策に絞る選択もあると思うかどうか。

大勝企画調整課長 様々な場の丁寧な説明が必要であり、各種会議や審議会等を通じて計画を策定し、目的や過程を明確にする。



国見町地域再生計画

議員活動報告書

(令和6年12月10日以降)

12月10日 ～13日	令和6年第7回定例会	全議員
	議案調査会	全議員
	全員協議会	全議員
	総務文教常任委員会（閉会中の所管事務調査、問い合わせ、聞き取り）	総務文教常任委員
12月11日	産業建設常任委員会（閉会中の所管事務調査）	産業建設常任委員
	広報常任委員会（閉会中の所管事務調査、議会だより編集会議）	広報常任委員
12月14日	白藤会（福島市）	議長
12月16日	阿武隈川上流流域下水道県北浄化センター環境保全協議会	議長
	第2回地方自治研究交流セミナー（国見町）	全議員
12月19日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会・臨時会（伊達市）（条例改正、補正予算）	組合議員
12月22日	あつかし山ビッグツリー点灯式	議長
12月24日	伊達地方消防組合議会全員協議会・臨時会（伊達市）（補正予算）	
12月25日	例月出納検査	監査委員
	広報常任委員会（議会だより編集会議）	広報常任委員
	伊達郡町村議会議長会正副議長事務局長会議（福島市）	正副議長
	伊達郡振興懇談会（福島市）	正副議長
12月26日	議会モニター会議	全議員
	公立藤田病院組合議会全員協議会・臨時会（条例改正、補正予算）	組合議員
1月5日	消防団出初式	議長
1月6日	新春賀詞交歓会	全議員
1月9日	広報常任委員会（議会だより編集会議）	広報常任委員
1月10日	交通三団体交通安全祈願祭（国見町）	議長
1月11日	桑折町制施行70周年記念式典・記念祝賀会（桑折町）	議長
1月12日	はたちの成人のつどい	議長
1月16日	議会モニター会議	全議員
	全員協議会	全議員
1月21日	議員懇談会	全議員
	全員協議会	全議員
	議会改革推進会議	全議員

1月22日	第3回地方自治研究交流セミナー（川俣町）	全議員
1月24日	例月出納検査	監査委員
1月29日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査	議長
1月30日	令和7年第1回臨時会	全議員
	議会運営委員会	正副議長、議会運営委員
2月4日	全員協議会	全議員
	東海林一樹前議長叙勲伝達式	議長
2月8日	「東京ふるさと国見会」交流会（東京都千代田区）	副議長
2月13日	令和6年度町村議会広報クリニック（東京都千代田区）	広報常任委員
2月14日	広報常任委員会視察研修（栃木県高根沢町）	広報常任委員
2月17日	東邦銀行桑折支店開設80周年記念事業（桑折町）	議長
2月18日	福島地方水道用水供給企業団定例会議案説明	議長
	伊達地方消防組合議会全員協議会・臨時会（伊達市）（工事請負契約締結）	
2月19日	山形県金山町議会行政視察	議長
2月20日	国見町民生児童委員推薦委員会	議長
2月21日	福島地方土地開発公社国見町評議委員会	理事、評議委員
	議会運営委員会	正副議長、議会運営委員
	全員協議会	全議員
	議員懇談会	全議員
2月26日	総務文教常任委員会（総務課所管事務調査）	総務文教常任委員
	例月出納検査	監査委員
2月27日	福島地方水道用水供給企業団定例会（福島市）	議長
2月27日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査	議長
3月1日	八木沼與一郎氏交通栄誉章緑十字金章受賞を祝う会（桑折町）	議長

みなさんからの
「請願・陳情」

請願
1件

●請願第1号

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

提出者 日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地方連合会

求める意見書「提出についての陳情」
提出者 新日本婦人会 伊達支部支部長 渡辺サツ子
結果 継続審査
（総務文教常任委員会にて審議）

●陳情第2号

国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」提出についての陳情

議長 高橋誠一
結果 採択
（産業建設常任委員会にて審議）↓意見書提出案可決
（議会・全会一致）

提出者 新日本婦人会 伊達支部支部長 渡辺サツ子
結果 継続審査
（総務文教常任委員会にて審議）

陳情
2件

●陳情第1号
国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を

モ ニ タ ー 紹 介

令和7年に議会モニターに委嘱された方を紹介いたします！

松田 昭子さん



国見町の伝統や文化について、議員の皆さまがどのようにお考えなのか注視していきたいと思えます。

高橋 幸夫さん



開かれた議会
町民と議会議員と役場職員との信頼関係構築と
思いやりのある町づくり
のお手伝いをしたいと考えています。

佐藤 裕一さん



熱意をもって勉強して一般質問する議員さんは生き生きしています。このような意識の高い議員さんを応援し続け、町議会のために貢献したいと思っています。

吉田 茂さん



議会運営の見聞を広げるために本会議を傍聴し、議会に対し意見交換をし、議会とともに良いまちづくりのため1年間努力していこうと思います。

佐藤 徳子さん



町民のひとりとして現状を知り、多くのことを学び、課題を考え、自分のできることから実践することです。議会傍聴などの参加を頑張ります。

斎藤 幸男さん



令和7年度議会モニターとして微力ながら町民の方々の声を議会の皆さまにお届けして、国見町のために1年目ですが努力してまいりたいと思います。

荒川 正子さん



来年の女性モニターを定員の半分まで増やし、国見町を活性化していきたいと思っています。議員や議会も町民一人ひとりの幸福を願う国見町にしてまいります。

高村 正博さん



議会モニターとして、議会を傍聴する中から町民目線での気づきを提言することで、議会の活性化と町政への動きにつながる一助となればと思っています。

齋藤 一巳さん



議会での議論を深めるため、①町民に議会への関心をもってもらうために町外の自治体の議会へ参加し、良いところを取り入れたい。②利害関係者の意見だけでなく、一般町民の意見が届くような透明性のある議会運営に寄与したい。



私たちの町内会

第1回 駅前町内会

当町内会の自慢は、なんといっても「観月台公園」が隣接していることです。憩いの場として、四季の移ろいを感じながらの散歩や錦鯉とのふれあいなどで癒されています。桜の開花時期には、町内会恒例の『花見の会』を観月台公園の屋外でも開催してきました。

藤田駅前通りに面した街並みは、1900（明治33）年の駅設置以降ですが、昭和の時代までは、タクシー・運送・製材所などの会社や商店、そして、藤田総合病院もあり、町の玄関口として賑わいがありました。

しかし、その後は少子高齢化や東日本大震災、その後の大地震による家屋の損傷によって転



花見の会の様子

出者が増え、戸数・人口減が続いており、高齢者の独り暮らしも多くなっています。

そんな中でも、新たな家族などが転入されたり、イタリア料理のレストランやどぶろくを提供する居酒屋、さらにカフェもオープンし、町内会の人だけでなく、町内外からの人も楽しめる、賑わいの場所ができていくことは喜ばしいことです。



駅前町内会長
羽賀 修一さん

広報常任委員会 研修会報告

議会広報クリニック

令和7年2月13日、東京都にて熊本大学客員教授の越地真一郎氏を講師に議会広報クリニックを受けた。

議会だよりとは、

- ①多くの正確な記事を載せる広報ではなく、興味を引く広報にすべき
 - ②伝えると伝わるは別
 - ③住民の意見や要望等を聞き、議会参加を促せるような構成が必要
 - ④見出しパワーを十分に理解し、実践し、読み手に興味を持ってもらうものだ
- ということを学んだ。
- 町民に興味を持ってもらい、特に若い方を呼び込まないと、議会だよりは生きてこないのだと切に思った。

報告者 佐藤多真恵

視察研修

令和7年2月14日、栃木県塩谷郡高根沢町役場にて菅谷広報常任委員長をはじめとする高根沢町議会広報常任委員の方から取り組みを伺った。

平成31年より、年4回で、自治体や団体等の要請や必要に応じて「カフェ・ド・ギカイ」と称した議会報告懇談会を開催。議会側から出向く方法は、町民との距離も縮まり、次世代の議員発掘にもつながると思った。少しずつその方法を当委員会も取り入れられれば、変化が現れるのではないかとと思う研修であった。



広報クリニック分科会での質疑応答

編集後記

今回は、広報研修会と高根沢町議会行政視察で学んだ事を取り入れ編集を行いました。

研修会では「見出し」の重要性を学び、クリニックで指摘された文字数について、できる限り少なくし写真やイラストを多くしております。

また、二次元バーコード（QRコード）を活用し、町広報誌とできるだけ重複掲載しないようにも工夫をいたしました。

今後、皆さまに読まれる／読みやすい／分かりやすい「議会だより」を作成してまいりますので、よろしく願います。

（蒲倉 孝）

発行責任者

議長 佐藤 定男

広報常任委員会

委員長 蒲倉 孝

副委員長 佐藤多真恵

委員 佐藤 定男

同 松浦 常雄

同 佐藤 孝

同 菊地 勝芳